

## 環境調査調査結果

8月17日午前、野見湾の環境調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

## 溶存酸素

溶存酸素量は4.5~6.8mg/lの範囲でした。(表1・表2、図1参照)

馬の背漁場の表層(0m層)は6mg/l以上ありましたが、2m層からは深くなるに従って低くなる傾向が見られています。

(グラフ中の破線は、環境改善目標値(5.7mg/l)を表します。)

## 水 温

26.3~29.5℃の範囲で、表層は非常に高くなっています。(表3、図2参照)

昨年同時期と比較すると各層約1℃低い値です。

## 塩 分

塩分は28.6~33.5‰の範囲にあり平常の値でした。

(表4、図3参照)

## 赤潮プランクトン

ガラク、馬ノ背、ST1の表層(0m)で採水を行い水試で調査しました。

3定点ともシャトネラ・マリナが1cells/ml見られました。本種は有害プランクトンで、数百cells/ccで被害が発生することがあります。密度は現在のところ非常に低いですが、魚の状態や海面の着色状況に十分注意し給餌を行ってください。

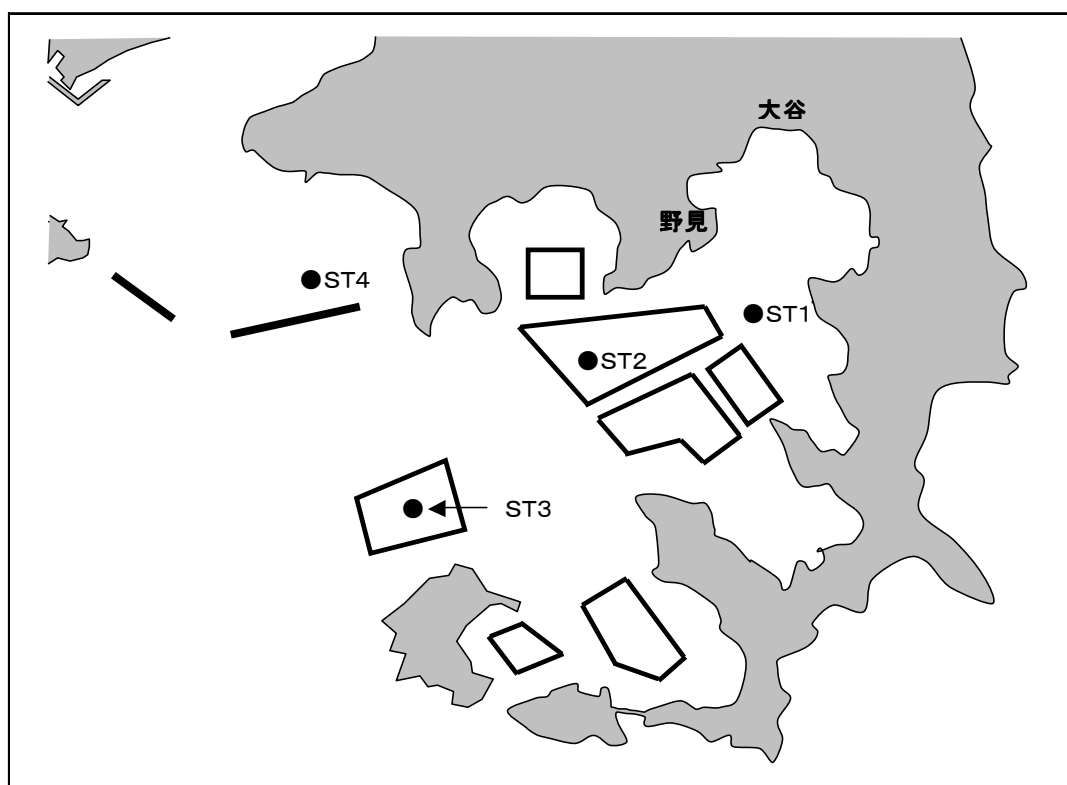


図1 野見湾調査定点図

## 環境調査結果

表1 溶存酸素(mg/l) 観測日時平成19年8月17日 10:00~10:40

調査地点	ST1	ST2	ST3	ST4	湾内 平均 (st1~st4)	昨年同時期 平均 (H18. 8. 22)	昨年との差 今年-昨年
	野見崎 小長崎 中間点	馬の背	ガラク2 番口	東側津浪 防波堤内 側			
0m	6.5	6.3	6.2	6.3	<b>6.3</b>	8.5	-2.2
2m	6.6	5.9	5.5	5.9	<b>6.0</b>	8.4	-2.4
5m	6.8	5.1	5.1	5.1	<b>5.6</b>	5.1	0.5
10m	4.9	5.0	5.3	5.0	<b>5.1</b>	4.1	0.9
B-1	4.5	4.5	5.5	4.5	<b>4.8</b>	4.4	0.4

表2 溶存酸素(ml/l)

調査地点	ST1	ST2	ST3	ST4	湾内 平均 (st1~st4)	昨年同期 平均 (H18. 8. 22)	昨年との差 今年-昨年
	野見崎 小長崎 中間点	馬の背	ガラク2 番口	東側津浪 防波堤内 側			
0m	4.6	4.4	4.4	4.4	<b>4.5</b>	6.0	-1.6
2m	4.7	4.2	3.9	4.2	<b>4.3</b>	6.0	-1.7
5m	4.8	3.6	3.6	3.6	<b>4.0</b>	3.6	0.4
10m	3.4	3.6	3.7	3.6	<b>3.6</b>	2.9	0.7
B-1	3.2	3.2	3.9	3.2	<b>3.4</b>	3.2	0.3

表3 水温(°C)

調査地点	ST1	ST2	ST3	ST4	湾内 平均 (st1~st4)	昨年同期 平均 (H18. 8. 22)	昨年との差 今年-昨年
	野見崎 小長崎 中間点	馬の背	ガラク2 番口	東側津浪 防波堤内 側			
0m	29.4	28.8	29.5	28.5	<b>29.2</b>	29.3	0.0
2m	28.6	28.5	28.2	28.2	<b>28.4</b>	29.5	-1.1
5m	27.6	27.8	27.6	27.8	<b>27.7</b>	28.7	-1.0
10m	27.2	27.3	27.3	27.3	<b>27.3</b>	28.3	-1.0
B-1	26.6	26.3	27.2	27.0	<b>26.7</b>	27.7	-1.0

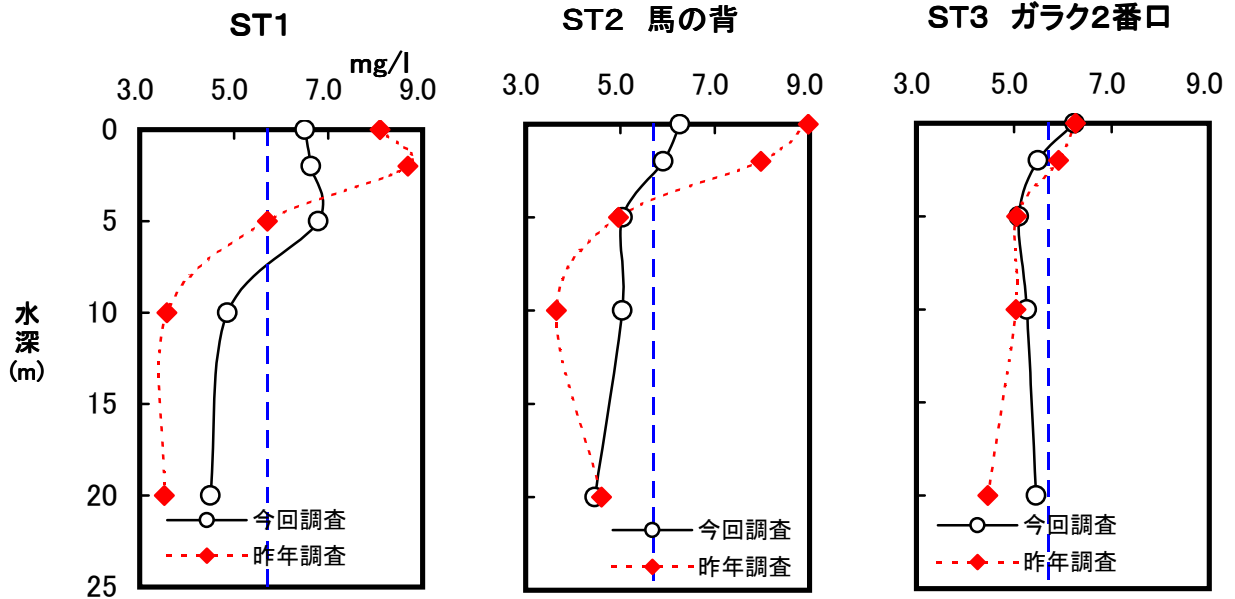
表4 塩分

調査地点	ST1	ST2	ST3	ST4	湾内 平均 (st1~st3)
	野見崎 小長崎 中間点	馬の背	ガラク2 番口	東側津浪 防波堤内 側	
0m	31.9	31.8	31.6	28.6	<b>31.8</b>
2m	32.5	32.5	32.6	32.2	<b>32.5</b>
5m	32.9	33.0	33.2	32.9	<b>33.0</b>
10m	33.1	33.2	33.3	31.1	<b>33.2</b>
B-1	33.2	33.4	33.5	33.4	<b>33.4</b>

表5 透明度及び水深

調査地点	ST1	ST2	ST3	ST4
水深(m)	17.6	24.3	15.3	15.9
透明度(m)	-	-	-	-

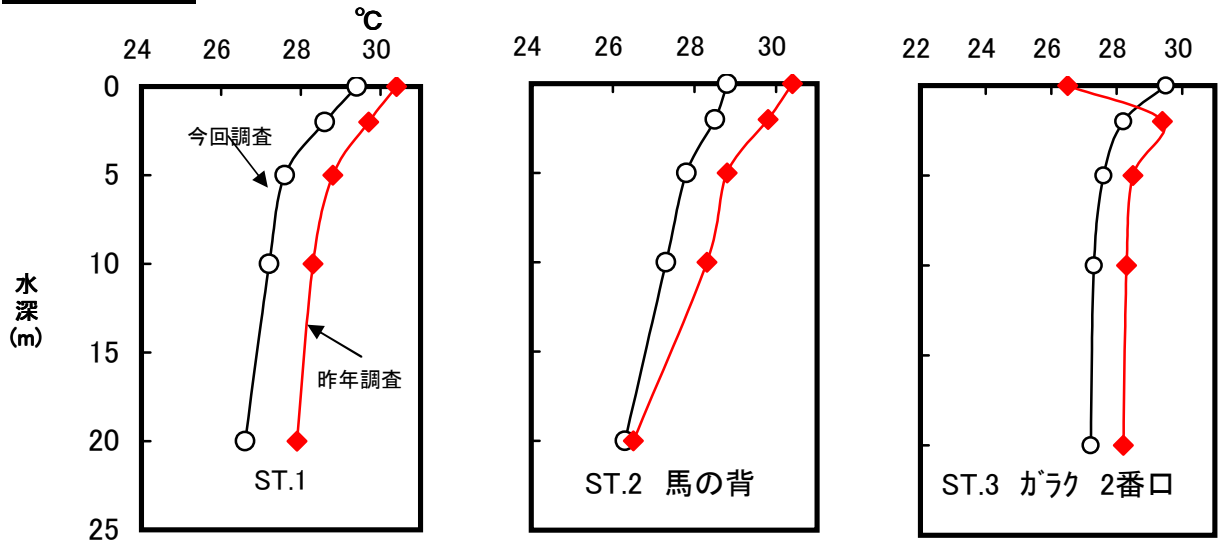
**図1 溶存酸素**



グラフ中での水深20mの値は底から1m上の層の値

グラフ中の波線は環境改善目標値5.7mg/l

**図2 水温**



**図3 塩分**

